

6. マウンテンエクスプロアリング

1. ねらい

- (1) 困難に負けず、同じ目的に向かう協同の心と忍耐力を培うとともに、登山を通して自然に親しみ、自然を愛する心情を養います。(登山)
- (2) 恵まれた自然の中で、動植物の観察などをしながら散策し、友情を深め、自然を愛する心情を養います。(ハイキング)
- (3) 頂を極めるといふ登山やハイキングの達成感とともに、行程に自然体験活動を加えて、様々な学びや感動が得られます。

2. 時期・時間

年間を通じて活動可能です。(ただし、冬期は移動に雪や凍結に対する配慮が必要です。) 時間等は別紙「登山・ハイキング・史跡めぐりコース一覧」のとおりです。

3. 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
無線機、ロープ(荒天時)、アイゼン(凍結時)、ヘッドランプ(夕方・夜間)、トイレ用簡易テント、スコップ 〈例〉にあげた活動であればワークシート、3Dビューアー、聴診器	登山、ハイキングに適した服装(長袖、長ズボンが良い)帽子、軍手、タオル、レジャーシート、雨具、水筒、カメラ、地図、時計、救急用品、弁当(1日コースの場合)、ヘッドランプ用乾電池(単3、2個必要)など

4. 活動内容(展開例)

内 容	
説明 15分	・班編成、服装、人数確認、健康状態の確認等を行います。 ・活動のねらい、目的地、コースを確認します。 ・注意事項を確認します。(行動、危険箇所、緊急時の対応、自然保護等について)
活動	・出発前に準備運動をしましょう。 ・団体のねらいや実態に応じて、活動の方法を工夫しましょう。 ・自然の愛護、環境保全に努めましょう。
整理 15分	・人数確認、健康状態の確認等しましょう。 ・感想を発表しましょう。

5. 留意点

- (1) あまり多く活動を設定せず、登山・ハイキングの流れを大切にしましょう。小休止や大休止の代わりに、活動を取り入れるのがよいでしょう。
- (2) 指導者は、必ず下見を行い、ルート、危険箇所、所要時間を調査するとともに、緊急時の対応等の体制を整えておきましょう。
※ 雨天後は滑りやすくなっています。冬期は、雪や凍結への注意が必要です。
- (3) 参加者の健康状態を把握し、人数確認を適時行って実施してください。
- (4) 救急用品等を持参するとともに、事故発生時の対応について確認のうえ、実施してください。
- (5) 落石、転落、まむし、蜂等に十分注意するようにしてください。また、道に迷ったり、はぐれた場合の連絡方法等を指導しておいてください。
- (6) 多人数で施設の見学を行う場合は、事前に連絡を入れておいてください。